

■発行／江別工業団地協同組合 江別市工業町15の1 電話384-3262 ■発行責任者／理事長 杉野邦彦 ■印刷／笹岡印刷株式会社

*広報「ついしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」(現在の工業団地周辺)の地名からとったものです。



雨竜沼湿原にて(ヒオウギアヤメ)
撮影／葛西 利光さん

目次

○ 表紙 雨竜沼湿原にて(ヒオウギアヤメ)	1	○ 旗の波街頭啓発	8
○ 第52回 通常総会	2~3	○ 山登り同好会レポート	9
○ 第30回 安全大会	4	○ 春の健康診断まとめ	10
○ 危険予知訓練KYT講習会	5	○ わが郷土の歴史 その60	11
○ 第1回親睦ゴルフ大会	5	○ 【予告】第14回工業団地産直朝市開催	12
○ クリーンアップ清掃活動	6~7	○ 組合予定行事	12
○ 第48回市民植樹	7		



第52回通常総会終了 すべての議案承認される

【R7組合決算状況】

収 入	1,481,737,058円
支 出	1,476,572,608円
利 益	5,164,450円

【R7共同受電事業】

需要家値引額 74,110,865円
(値引率4月~5.5%、11月~9%、1月~10%)

値引後維持管理料 130,086,923円

総維持管理料 204,197,788円

議案第2号から第6号までは、令和8年度事業運営に係る事業計画及び予算案です。

令和7年度の事業を継続しつつ、令和8年度の議案内容は満場異議なく承認されました。

【R8共同受電事業】

「安全・安定・安価」なる電力供給のために、需要家への年次点検、施設設備の改修工事、変電所の設備点検、電気工事、需要家への値引7.5%を実施いたします。



第52回通常総会は5月27日(水)午後4時より工業会館2階会議室にて開催されました。

組合員数128名、出席者127名(当日出席42名、委任状による出席85名)で総会は成立。杉野理事長より挨拶の後、議長に 安田建設(株)常務取締役 里深伸司 氏を選出し、議案審議に入りました。

議案第1号は令和7年度事業報告と各会計の財務諸表について事務局より説明の後、監事の(有)上光石材工業 代表取締役 伊藤裕己 氏より、会計業務が適正に処理されているとの監査報告がなされ、令和7年度の組合事業活動について審議されました。令和7年度の剰余金処分数額465万円(定款に定めている剰余金処分のほか、積立目標額を5,000万円に定め継続してきている共同受電設備修繕積立金250万円も含む)についても承認されました。

工業団地協同組合 第52回通常総会 工業団地協同組合 第52回通常総会





余興で盛り上がった 懇親パーティー



総会終了後、午後5時より平素より組合事業にご協力いただいている関係機関の方々18名をお招きし、35名の組合員、演奏者を含み総勢61名で懇親パーティーを開催いたしました。



杉野理事長の挨拶に続き、衆議院議員和田よしあき様の代理としてお越しいただきました和田直子様、江別市長 後藤好人 様、最後に江別商工会議所会頭 町村 均 様よりご挨拶を頂戴いたしました。

北海道議会議員 木葉 淳 様の乾杯で祝宴の始まりです。

今回は余興として三好 淑さんにバイオリン演奏、山口沙苗さんにアコーディオン演奏をご披露いただきました。

映画「タイタニック」の曲などで会場から手拍子が自然と出てくるなど会場は大いに盛り上がりを見せ、最後にはアンコールでの演奏もしていただきました。

すてきな演奏で盛り上がった後は組合恒例のビンゴ大会です。

里深副理事長から最初の「リーチ!!」の声が聞こえましたが、なかなかビンゴとはならず・・・「リーチ!!」の声が各テーブルから聞こえ、ついに総会で諮問機関としてご出席いただいた北海道中小企業団体中央会 田巻昭彦 様から最初のビンゴの手が挙がりました。

その後は4名同時にビンゴの手が挙がり4名でのじゃんけん!など会場はたいへん盛り上がりを見せていました。

最後に中締めは、江別市議会 副議長 徳田 哲 様にご挨拶いただきお開きとなりました。

沢山の方にご出席いただき感謝申し上げます。





当日の大会の様子は組合ホームページ
映像ブログでご覧いただくことができます。



第30回安全大会は4月17日（金）13時30分より
開かれ、32企業61名が参加されました。

杉野大会長より大会挨拶をいただいたあと、札幌東労働
基準監督署署長 高津信之 様、江別警察署署長 濱野慶介
様、江別市消防署署長 菅野 裕 様、3名の来賓より、労働
事故災害状況や交通事故状況、火災・救急状況などにつ
いて事例や対策を交えたお話をしていただきました。



特別講演では、落語家でテレビCMや落語セミナーなど
でもご活躍されています 笑生十八番 様に、「安全大会落
語」～笑って笑って健康落語 というテーマで講演してい
ただきました。

安全大会に合わせての健康診断の落語やそば屋の落語
などで、普段の安全大会では聞こえない笑い声が会場か
らたくさん聞こえ、最後の質疑応答では「話し方（声の出
し方）」のコツまで教えていただきました。



大会の最後には、安全衛生委員会 久保 浩美 委員長
より安全宣言とスローガンが読み上げられ、安全に対する
意識を再確認し大会は終了いたしました。組合員の皆様ご
出席いただきありがとうございました。

笑生十八番 様に於かれましては、お忙しい中、お越しい
ただきありがとうございました。

危険予知訓練(KYT)研修会に参加して

株式会社 菊水 山縣さん

令和8年5月19日(火)、危険予知訓練(KYT)研修会に参加させて頂きました。

今回の研修を通して、職場全体が危険に対する意識を持つこと、そのような職場の環境づくりの重要性について学ぶことができました。

実技で取り組んだ健康KYは初めて耳にした言葉でしたが、監督者が安全のために一人ひとりの健康状態を把握するという部分が印象に残っています。日頃から健康状態を把握することは早期の気づきと対処につながるため、普段の業務的なものも何気ないコミュニケーションも重要なものと改めて感じました。また、そのためにはコミュニケーションがとりやすい環境を作っていくことも大切だと分かりました。実際に仕事をする中で作業の方とコミュニケーションをとる

場面は何度もあります。健康状態の乱れが不安全行動につながることもあるため、普段の様子をよく知っておくことで変化に気が付けるようになればいいと思います。

チームで行ったKYT基礎4R法は、イラストの危険箇所について話し合い、意見を出していきました。普段から働いている分野が異なる方々の意見は自分になかった視点が多く非常に参考になりました。まとめ後に行ったチームごとの意見も自分たちには無かった考え・表現がいくつもあり、危険の可能性はどこにでも潜んでいることを再認識するきっかけになりました。自身の現場でもどんな場面でどんなことが起きたら危険かを考え、行動していこうと思います。

工場内には動いている大型の機械や清掃時に薬剤の使用などもあるため少しの気のゆるみが大きな事故につながります。確認を怠らずに一人ひとりが安全を心掛けて作業に取り組むことで事故防止に努め、ゼロ災を目指したいと思います。

この度は貴重な時間をありがとうございました。

第1回 親睦ゴルフ大会開催!

▶2026.6.3 エムズゴルフクラブ

令和8年度第1回目の親睦ゴルフ大会が6月3日(水)エムズゴルフクラブで開催されました。参加者は14名です。

この日の天候は晴天!駐車場から受付まで歩くだけでも汗をかいてしまう暑さでした。

杉野理事長の挨拶の後、大会のスタートです。

ハーフが終わり暑さも和らぎ絶好のゴルフ日和に!昭和窯業(株) 飯田さんが1オーバーの好成績でハーフを終えターンしました。

優勝は好成績を維持し昭和窯業(株) 飯田泰秀さん
OUT37・IN43:GROSS80:HDCP7.2:NET72.8で

す。飯田さんはベスグロ賞、そしてドラコン賞OUT2も受賞です、おめでとうございます。

準優勝は(株)北海道ロジ 吉田拓哉さん、3位は(株)システック 西川隆広さんです。

その他賞に入った方々は次のとおりです。

ドラコン賞 IN11:吉田さん、ニアピン賞 IN13 村田さん
IN17 加藤さん OUT4 吉田さん、OUT8 西川さん。

また組合員の昭和窯業(株)様より協賛いただいた商品は、令和8年6月3日開催にちなみ6+3で9位の加藤さんにお渡しいたしました。協賛ありがとうございます。

今回は9月2日(水)札幌国際CC島松コース12:30スタートです。

沢山のご参加をお待ちしております。



クリーンアップ清掃活動 ▶2025.4.26 江別工業団地協同組合

4月25日(土)、世田豊平川河川敷緑地帯両側及び団地内道路一部を清掃いたしました。

参加人数は50企業116名(事務局含む)です。

事前に下見を行い、今回も清掃範囲を広げ4つのグループに分かれて清掃活動を行いました。

今年は雪の集積所へ向かうトラックからのゴミ捨てと思われ

るゴミが世田豊平川河川敷に散見し、世田豊平川河川敷両側、対雁緑地帯を清掃していただきました。

ご参加いただいた皆様のご協力に感謝いたします。

また、全組合員様に自社周りの清掃をお願いし、通常業務の時間帯に敷地周りの清掃活動もしていただきました。ご協力ありがとうございました。



参加企業名(50企業)

會澤高圧コンクリート(株)	(株)ニッコン北物
浅香工業(株)	ニッコン(株)
エア・ウォーター物流(株)	日成ビルド工業(株)
江別製粉(株)	日本甜菜製糖(株)
江別ビル管理(株)	日本ハム惣菜(株)
江別リサイクル事業協同組合	ハ光砂利(株)
オシキリ食品(株)	パピルス化成(株)
(株)カルテック	早川商事(株)
北日本重機(株)	パラマウント硝子工業(株)
グロース・テクノ工業(有)	(株)樋口
札幌機工整備(株)	(株)ホクエイ
(株)JSP	北海道王子製袋(株)
(株)システック	北海道川崎鐵網(株)
(有)上光石材工業	(株)北海道スクリーン製作所
昭和窯業(株)	北海道中央食糧(株)
太陽生コン(株)	北海道トナミ運輸(株)
匠プレス工業(株)	(株)北海道酪農公社
(株)龍田工務店	(株)北海道理水
(株)ダンロップリッドサービス	(株)北海道ロジ
電制コムテック(株)	前田道路(株)
道央衛生(株)	丸三興業(株)
TOTO(株)	(株)丸正久保総業
(株)ドリーム	(株)ミツハシ
(株)西口商事	安田建設(株)
ニチラク機械(株)	ヤンマーアグリジャパン(株)

自社清掃企業名(50企業)

會澤高圧コンクリート(株)	日成ビルド工業(株)
(株)イチムラ	ハ光砂利(株)
江別製粉(株)	パピルス化成(株)
江別リサイクル事業協同組合	早川商事(株)
オシキリ食品(株)	パラマウント硝子工業(株)
(株)カルテック	(株)ホクエイ
北日本重機(株)	(株)北冷製作所
建成興業(株)	(株)北海電工
サッポロ機工サービス(株)	北海道王子製袋(株)
札幌機工整備(株)	(株)北海道スクリーン製作所
(株)札幌第一金属	北海道中央食糧(株)
(株)JSP	北海道トナミ運輸(株)
清水サッシ(株)	(株)北海道酪農公社
昭和窯業(株)	(株)北海道理水
匠プレス工業(株)	前田道路(株)
電制コムテック(株)	丸三興業(株)
道央衛生(株)	(株)丸正久保総業
道央石材(株)	(株)マルナカ
TOTO(株)	丸藤シートパイル(株)
(株)ナーデルコーポレーション	三司馬物産(株)
(株)西口商事	(株)ミツハシ
日本基礎技術(株)	(有)最上商店
ニッコン(株)	安田建設(株)
(株)ニツタイ	(有)山忠ノサカ製作所

2026クリーンアップ清掃活動 班分けマップ



～事務局よりお願い～

工業団地内の道路側溝は冬期間の除排雪の影響もあり、側溝にゴミや汚泥が溜り、停滞し悪臭がする箇所がいくつかあります。自社周りの道路側溝の汚泥の清掃を行った時は、回収と処理は江別市へお願いいたしますので、是非自社周りの側溝清掃をお願いいたします。



第48回

市民植樹

5月23日(土)、第48回市民植樹がはるみ公園で開催されました。

当日は天候に恵まれ、江別市長 後藤好人 様よりご挨拶をいただき、その後、緑化専門員による植樹の手順についてのレクチャーを受け、植樹を行いました。

植樹会場のはるみ公園は、2番通と3番通を結ぶ全長約350mにわたる長い公園で、本年度遊具のリニューアルが予定されています。今回植樹する樹種は、エゾヤマザクラ計40本。長い公園の特徴を活かした桜並木を創出するため、参加者の方はそれぞれ記念内容を書いた札をつけた桜を植樹されていました。

最後に全員で記念撮影をし、閉会となりました。

この活動は、江別市と江別市民憲章推進協議会の共催及び当組合の後援で実施しております。

組合からの参加は下記のとおりです。

- ▷丸三興業(株)…………… 上原 大輔さん
- ▷日成ビルド工業(株)…………… 岩口 毅さん
- ▷日本甜菜製糖(株)…………… 梨本 智也さん
- ▷(株)ダンロップリットレッドサービス … 谷 政宏さん
- ▷江別工業団地協同組合 …… 薄統括部長、山本職員





旗の波街頭啓発

7月14日(火)夏の交通安全運動に合わせ
「旗の波街頭啓発」を実施しました。

参加者は40企業78名。所管委員会である安全衛生委員会 久保委員長より挨拶の後、札幌方面江別警察署地域交通官 警視 大越様、江別地区交通安全協会 会長 高間様よりご挨拶をいただき、次に、安全衛生委員会 蟹谷委員より交通安全宣言、安全衛生委員会渡辺委員による飲酒運転根絶宣言を行った後、参加者全員で交通安全旗を手に、5丁目通りを道行くドライバーへ「スピードダウンとシートベルト着用」の啓発活動を行いました。

大越様からは4月1日より改正道路交通法が施行され、自転車利用に関するルールが見直されたこと、そして江別市内で依然として飲酒運転の事故が発生しているとお話いただきました。

旗の波街頭啓発は通行するドライバーさんへの安全運転を呼びかけると同時に旗を振る組合員の皆様への安全運転への意識を高める活動です。

飲酒運転しない・させない・ゆるさない!はもちろんのこと、無理な追越やスピードの出し過ぎにも注意し安全運転を心がけましょう。

夏の交通安全参加企業 (40企業78名)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ・浅香工業(株) | ・(株)ニッコン北物 |
| ・(株)イチムラ | ・日成ビルド工業(株) |
| ・エア・ウォーター物流(株) | ・日本甜菜製糖(株) |
| ・江別製粉(株) | ・日本ハム惣菜(株) |
| ・江別ビル管理(株) | ・(株)NIPPO |
| ・江別リサイクル事業協同組合 | ・八光砂利(株) |
| ・オシキリ食品(株) | ・パピルス化成(株) |
| ・(株)菊水 | ・パラマウント硝子工業(株) |
| ・グローブ・テクノ工業(株) | ・(株)樋口 |
| ・江和自工(株) | ・(株)ホクエイ |
| ・札幌機工整備(株) | ・(株)北海道スクリーン製作所 |
| ・(株)札幌第一金属 | ・北海道中央食糧(株) |
| ・(株)JSP | ・北海道トナミ運輸(株) |
| ・(株)システック | ・(株)北海道酪農公社 |
| ・昭和窯業(株) | ・前田道路(株) |
| ・匠プレス工業(株) | ・丸三興業(株) |
| ・(株)ダンロップリットレッドサービス | ・(株)丸正久保総業 |
| ・電制コムテック(株) | ・(株)マルナカ |
| ・道央衛生(株) | ・(株)ミツハシ |
| ・TOTO(株) | ・安田建設(株) |
| ・ニッコン(株) | |



第1回 5月17日(日)

銭函天狗山 (536.7m) … 8名参加

第1回山登りは、この時期恒例の登山と山菜採りの両方が楽しめる銭函天狗山ですが、今年は春香山登山口から登る「山菜採り」登山です。

なので、春香山登山口から入り銭函天狗山頂上からちょっと下の場所まで登って食事&山菜取りを楽しみました。

前日までの雨で、登山道はぐちゃぐちゃで横を流れる川の大きな音と、水量の多さにちょっとびっくりしながら「山菜群生地」を目指し、いつもながら「暑い、滑る」と、一人ブツブツ声が出てしまった私です。ひたすら登ること1時間半・・・少しずつ山菜が見え始めると「この場所目印をつけて帰りに採ろう」「覚えていられるかなあ??」前から降りてくる登山者を見つけては「山菜、いっぱいあった?」と聞きます。

毎年ながら沢山育っている「うど・わらびの群生地」にたどり着くと、みんな黙々と山菜取りです!持ってきた袋に入りきら

ないくらいの山菜を採り、お弁当を食べて軽くなったはずのリュックがいつのまにかずしりと重たくなって「欲張りすぎた!」と言いながら下山となりました。

帰ってからの下処理の苦労はありますが、春の味覚の山菜は最高です!

5月は花粉症の季節で、マスクを着用しての登山でしたが、美味しいものの魅力には勝てないですね〜(笑)



第2回 6月21日(日)

佐幌岳 (1,060m) … 6名参加

第2回山登りは、日高山脈の最北部に位置し、新得町と南富良野の境界にある佐幌岳です。「サホロ」はアイヌ語で「下方の川」を意味する「サオロオベツ」からくるそうです。(アイヌ語難しい!)

平成25年6月にも登ったのですが、月日が経ちすぎて「初めて登る山です!」と、言っしまい「何言ってるの、登ったでしょ!」と、突っ込まれる私です。確かに、集合写真に写っている・・・。前回は、晴れ

ている中登りましたが、雨の後で生憎の霧の中を進みます。綺麗に咲いている花々を見ながら、やっと頂上にたどり着きましたが、やはり眺望がありません。写真のようにあるはずの山々を想像しながらご飯を食べ、下山となりました。10キロ以上歩いたかも・・・。

夏山は初心者でも楽しめる安全なコースです。晴れの日、是非、登ってください。



2026 年 4 月度定期健康診断のまとめ

2026 年 4 月度健康診断は、452 名（男性：384 名、女性：68 名）の方が受診されました。この結果をもとに有所見者の状況をまとめました。

受診者

452 名

健康診断受診者数

50 代以上

62.6%

構成年代の中心

男性比率

84.9%

男女比は男性中心

年代構成

50 代・60 代以上の比率が高く、中高年層中心の受診構成です。



20 代

30 代

40 代

● 20 代 22 名 (4.9%)

● 30 代 67 名 (14.8%)

● 40 代 80 名 (17.7%)

● 50 代 124 名 (27.4%)

● 60 代以上 159 名 (35.2%)



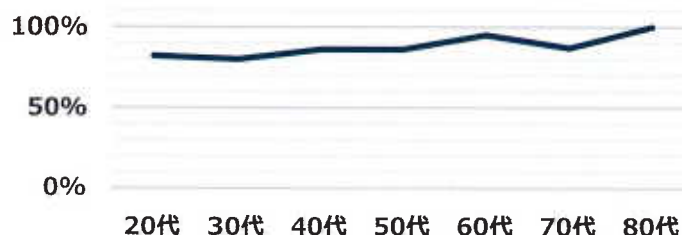
「まだ大丈夫」が将来の負担になることも。

所見のある方は、早めの受診・相談で健康を守りましょう。



年齢が上がるほど『要医療・要指導』の存在感が増加

所見率



健康診断は「異常を見つける場」ではなく、「**将来の健康を守るためのきっかけ**」です。今回の結果を機に、できることから生活習慣を見直し、早めの受診や相談につなげていただくことが、将来的な有所見率の低下につながります。

江別市陶芸の里 廃止 陶芸文化の火は消さない

(一般財団法人北海道文化財保護協会理事) 石垣 秀人

江別市は2026(令和8)年4月1日、陶芸の里条例を廃止した。条例は陶芸の里構想で位置付けしている西野幌の陶芸の里エリアを工業用地として活かしていこうとするもの。条例で規定している江別市セラミックアートセンターは、陶芸の里構想を前提としたもので条例のままでと現在の施設運営や周辺の活用実態と合わなくなってきた。企業立地ガイドでは企業誘致用地として(RTNパーク・旧陶芸の里用地)して内外に発信しているところである。



国道12号案内看板

アートセンターでは北のやきもの展示室・小森忍記念室、れんが資料室、陶芸体験や教室など事業展開をしている、この部分だけを明確に位置付け社会教育施設として改めてアートセンター条例を制定、同日施行した。

陶芸の里は構想・計画から35年の幕を閉じた。

陶芸の里構想

江別市は歴史的にも産業的にも“やきもの”と深い関わりを持ちながら成長を続けてきたまちである。“江別式土器”“れんが産業”“道立工業試験場野幌分場”さらには北海道陶芸の基礎を築いた“小森忍”など、江別市にはやきものに関わる貴重な財産が蓄積されている。

構想は1982(昭和57)年の「商業近代化地域計画報告書」の中に野幌の地に陶芸家を中心とした芸術家の村的なものを作ろうと、さらに発展させて地場産業の振興の視点を入れ新総計・基本計画(文化・文化の振興)の中に陶芸の里構想が登場した。具体的には野幌窯業100年の1990(平成2)年のことである。場所は西野幌、RTNゾーン内の道道江別恵庭線沿いの面積約16ha。用地中央には筋違川が走り背後には森林公園、運動公園がある環境抜群なところである。ここに展示、創作、研修、宿泊、公園などの機能を有する施設を配置し、江別の伝統的な産業と文化を結びつけるニューカルチャーの震源地にしようというもの。基本構想がまとまったのは1991(平成3)年5月。基本構想に基づき1992(平成4)年度から10か年にわたる実施計画は、陶芸の里エリアに展示や体験の機能を持つ施設、セラミックス産業の発展を支援する研究施設の誘致、陶芸家育成のレンタルスペース、展示商業施設、交流の場となる公園などを盛り込んだ一大プロジェクトである。

実施計画第1期展開は陶芸の里全体の中心的かつ総合的な施設で、展示・発

表、創作・体験、情報・研修の3つの機能をもつ、江別市セラミックアートセンターを1994(平成6)年11月に開館した。

第2期展開では公的試験研究機関の誘致を柱にセラミックス技術センターなど計画していた。構想の核となる工業試験場の誘致が見通せないことから計画を凍結、陶芸の里エリアの取扱いを検討してきた。

廃止は江別市の工業系用地が慢性的に不足し市外からの工場、物流施設等を誘致するための用地や、市内企業の施設の増設、建替えに対応可能な用地を確保していくことが喫緊の課題となっている。そこで準工業地域の陶芸の里用地を企業誘致に活用していこうとなった。方向転換に際しては地元自治会などへの説明を行った。

7月11日、12日の江別やきもの市は賑わいを見せた、やきもの文化の火はこれからも灯し続けていくことになる。

江別RTNパーク

西野幌の江別RTNパークは、米国で学術研究の開発モデルとして成功した先端産業の一大集積地RTP(リサーチ・トライアングル・パーク)に倣い、江別市が日本の北に位置することからN(ノース)と命名した。RTN構想は、道央圏にある現在ある機能集積に着目し、札幌(都市機能、中枢管理機能)、千歳(空港機能)、江別(文教施設の集積と優れた自然環境)の三市を結ぶトライアングル(三角形)の中に先端技術・頭脳の集積を図ろうというものである。

RTN構想は1984(昭和59)年に策定開始、1985(昭和60)年に決定した。第1期計画では用地約99haを2工区に分けインフラ整備、企業誘致を図ってきた。RTNパークには先端技術系や食品関連産業など19社が立地している。

江別の工業団地はRTNパークのほか、江別第1・第2工業団地がある。また地域未来投資法の活用で市街化調整区域の江別東IC地区、江別西IC地区の重点促進区域2か所設定し、民間開発による企業立地を推進している。

プロ野球日本ハムファイターズ2軍施設の誘致は7月2日、恵庭に決定した。江別も名乗りを上げ運動したが、市民を巻き込んだ誘致活動は今後のまちづくりに生かしていくことになる。

[参考:江別市ホームページ、「陶芸の里」構想パンフレット(1993年)、江別市RTNパーク資料編(平成5年)、江別市企業立地ガイド(2026.3月)、えべつ昭和史(平成7年)]



第14回

工業
団地

産直朝市

開催



今年も工業団地産直朝市が
開催されます

日時

令和8年9月6日(日)

午前9時～午前12時までの3時間限定!

会場

江別工業会館駐車場
江別市工栄町15番地の1

昨年はMCとしてDJ・タレントとしておなじみ「江別市まちづくりアドバイザー」でもあるヒロ福地さんに来ていただき、雨の中での開催でしたが江別市・江別近郊より2,000人以上の方に来ていただき産直朝市としては過去最大の来場者数となりました。

今年も産直朝市として3時間限定の開催ですが、引き続き野外での販売のほかキッチンカーも参加します。まさに「お豆腐からレンガまで」ある各出店企業さんが目玉商品を用意しておりますので、ご来場お待ちしております!

詳しくは8月発行の
「まんまる新聞」に
掲載予定ですので
ご覧ください。

写真は昨年開催した産直朝市の様子です



組合予定行事

〔7月〕

14日(火) 旗の波街頭啓発

16日(木) 定例三役会

18日(土) 親睦麻雀大会

24日(金) 26日(日) 視察研修旅行(岩手県、盛岡市)

28日(火) 「ついでに」第172号発行

〃 理事会

29日(水) 産直朝市実行委員会

〔8月〕

20日(木) 定例三役会

〃 広報編集委員会

25日(火) 産直朝市実行委員会

〔9月〕

2日(水) 親睦ゴルフ大会

6日(日) 産直朝市

9日(水) 普通救命講習Ⅰ

10日(木) 福利厚生広報委員会

12日(土) 親睦パークゴルフ大会

15日(火) 定例三役会

〃 共同受電事業委員会

17日(木) 総務委員会

24日(木) 販売購買委員会

